

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 5 月 31 日 (2007.5.31)

【公開番号】特開 2000-311826 (P2000-311826A)
 【公開日】平成 12 年 11 月 7 日 (2000.11.7)
 【出願番号】特願 2000-108229 (P2000-108229)
 【国際特許分類】

H 0 1 F 38/42 (2006.01)

H 0 1 F 27/28 (2006.01)

H 0 1 F 30/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 F 19/04 R

H 0 1 F 27/28 K

H 0 1 F 19/04 D

H 0 1 F 31/00 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 4 月 6 日 (2007.4.6)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 15 kV から 30 kV までの電圧のための高圧トランスであって、鉄心 (K) と、一次巻線 (W1) と、コイル巻き体 (3) に配置された高圧巻線 (WH) と、ハウジング (1) とが設けられている形式のものにおいて、一次巻線 (W1) がハウジング (1) の外側に配置されており、高圧巻線 (WH) がハウジング (1) の内側においてコイル巻き体に配置されており、前記ハウジング (1) が樹脂で成形されていることを特徴とする、高圧トランス。

【請求項 2】 ハウジング (1) が壁状の突出部 (2) を備えた円筒状であり、前記突出部の間に一次巻線 (W1) が巻き付けられており、前記突出部 (2) がハウジング (1) のそれぞれの側に配置されている、請求項 1 記載の高圧トランス。

【請求項 3】 一次巻線 (W1) が、高圧巻線 (WH) を電氣的に遮蔽するために該高圧巻線 (WH) をカバーする密な巻線として配置されている、請求項 1 記載の高圧トランス。

【請求項 4】 一次巻線 (W1) の上方に補助的な巻線が配置されている、請求項 3 記載の高圧トランス。

【請求項 5】 高圧巻線 (WH) が前記コイル巻き体 (3) のチャンバ (4) に配置されており、高圧巻線 (WH) の上方に接線方向にダイオード (D) が配置されており、ハウジングが、ダイオード (D) を収容するために一方の側において楕円形の延長部 (7) を有している、請求項 1 記載の高圧トランス。

【請求項 6】 高圧巻線 (WH) のコイル巻き体 (3) の内部キャビティの表面に導電性コーティングが設けられている、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項記載の高圧トランス。